



社会医療法人 栄光会

栄光病院

EIKOH HOSPITAL

広報誌（医療版）

Vol. 29
2021 Dec

手と目と



■Contents■

- 巻頭言
- 特集～下稲葉康之名誉会長を偲んで～
- 部署紹介
- 【連載】 コロナに負けず体力作り 3
- 健康のためのちょっとイイお話し
- My Favorite ～私のお気に入り～
- 編集後記
- 診療スケジュール

（「栄光会ファイロフイ」より）

職場におけるコミュニケーションは最終的には緊密なパートナーシップにまで至るべきです。職場を共にするスタッフ同志にとつて、とても大切なテーマです。

「今月のことば」

「手と目と」

この言葉には、「手」と「目」で「見る」（手+目=看）という私たちの思いが込められています



社会医療法人 栄光会 本部事務局
事務局長 後藤 拓



本誌で特集しておりますが、下稲葉名誉会長が天に召されました。

ここ2年近くに及ぶ新型コロナウイルス感染症の蔓延による日常生活の大変革の中で「当たり前」だと思っていたことが当たり前ではないこと」を充分すぎるほど学んだはずなのに、「いつもそこにいることが『当たり前』と思ってしまうていた下稲葉名誉会長がいなくなる」、その喪失感はとても強く、大きなダメージとなりました。

しかしそれと同時に、得たものもあります。

それは「当たり前」だと思つてることが必ずしも当たり前ではない」ということを再確認できたこと、そして、これまで栄光会の創立者たちが培ってきた、「社会医療法人として果たすべき使命」をしっかりと継承するという覚悟を、より強固にすることができたことです。

私たちは、患者さんが栄光会の医療機関を受診される、又は入院されるのが「当たり前」ではない、利用者さんが栄光会の介護施設を利用される、入所されるのが「当たり前」ではないのだということ再度しっかりと肝に銘じ、地域の皆様に『選んでいただける栄光会』を目指します。

そして、「患者さん・ご家族の幸せといきがい」に貢献することができるよう、使命感を持つて励みます。

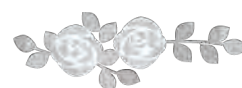
ちなみに、「当たり前」の対義語は「有難う（ありがとう）」だそうです。これから栄光会と関わりを持つてくださる方々に、少しでも多くの「ありがとう」という気持ちをお届けできるよう、精進いたします。

これからも皆様の温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



社会医療法人 栄光会 名誉会長

下稲葉康之先生 を偲んで



社会医療法人 栄光会

理事長・院長 井上 裕

2021年9月2日名誉会長 下稲葉康之先生が天国に旅立たれました。

私は今回理事長職のお話を頂いてから半年以上固辞を続けたのですが、ようやく7月にお受けすることにしました。その矢先に先生は体調を崩され2ヶ月もしないうちに亡くなられたことになります。理事長職の重みをひしひしと感じております。まだまだお教えいただかねばならないことが多数あったにもかかわらず、先立たれたことが痛恨であります。突然自失しております。

さて私は2008年9月に当院に赴任して以来、康之先生には公私ともにお世話になり様々なことをご教示いただきました。高校・大学の先輩方のなかでも、康之先生は、その高潔でなお温かみにあふれたお人柄はもちろんのこと、事業体のトップとしてのお姿も飛び抜けた存在でした。これからは先生が残されたお手紙や文籍をたよりに、栄光会運営に努めていきたいと思っております。康之先生、本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました。

当法人 名誉会長・名誉ホスピス長 下稲葉康之儀が
去る9月2日に逝去いたしました

栄光会創立の理念を今一度心に刻み
患者さん・ご家族の幸せと生きがいのために
スタッフ一同 心と力を合わせて なお一層励んで参ります



回診のときは必ず
患者さんの手を取って



ホスピス病棟の「七夕会」



〈 故・下稲葉康之名誉会長 略歴 〉

- 1938年 鹿児島県に生まれる
- 1957年 九州大学医学部入学
- 1958年 ドイツ人宣教師との出会いを契機にクリスチャンとなる
- 1963年 九州大学医学部卒業
- 1964年 九州大学医学部第二内科入局
- 1965年 西独ボン大学留学
- 1967年 医療法人古森病院に勤務しつつ、福岡市東区に香住丘キリスト福音教会を創設し、伝道者として奉仕
- 1980年 福岡県糟屋郡志免町・亀山病院勤務となり、末期医療（ホスピス）を担当。以後、ホスピス緩和ケアの現場に従事。ホスピス緩和ケアの啓発を目的とした栄光ホスピス研究会（現：NPO法人栄光ホスピスセンター）を平成元年に設立。啓発・普及活動に精力的に取り組む。
- 2019年 日本福音功労賞 受賞
- 2020年 第48回福岡県医療功労賞（読売新聞社） 受賞

社会医療法人 栄光会 名誉会長・名誉ホスピス長
香住丘キリスト福音教会 協力牧師

2021年9月2日 栄光病院にて逝去（享年82歳）



社会医療法人 栄光会

副理事長 青戸 雄司

下稲葉康之名誉会長は約42年間という長い間、医師としてはホスピスケアに従事し多くの患者様・ご家族の幸せと生きがいのためにほとんど、休みなく働いてこられました。栄光会の創立者のひとりとして、重責を担われ院長・理事長・会長として、その経営手腕を発揮されました。栄光会が今日あるのはまさに下稲葉先生の賜物と言って過言ではありません。

栄光会のオーナーはイエス・キリストであり、先生自身はその管理者です、いつもおっしゃっておられました。先生の残された多くの著書や栄光会フィロソフィの中の言葉の数々を私たち栄光会の礎としてこれからも歩んでまいりたいと思います。天国で、愛する奥さまと共にイエス様の懷で安らかに憩われておられることと拝察致します。残されたご家族の皆様にもイエス様の慰めが豊かに注がれますようにお祈り申し上げます。



「栄光会存続の最終的な目的と使命は、『患者さん・ご家族の幸せと生きがい』に貢献することです。」
下稲葉康之著
「栄光会フィロソフィ」より

栄養管理課は、

- ・ 栄養サポートを行う事で、低栄養の患者さんを早期回復へ導く
- ・ 地域の方々の健康サポートを行う

を目標にかかげて、入院中の患者さんの栄養管理やバランスのとれた食事の提供、また入院・通院を問わず、体調を維持するための栄養指導などを行っています。

気分的にも落ち込みがちな入院生活の中で、患者さんが「食欲が出てきた」、「ごはん、美味しかった」と、少しでも明るい気分になれる食事が提供できるように努めて参ります。



お正月のおせち料理



開院記念のお弁当

医事課の主な仕事は・・・

●受付・会計業務

受診される来院者の方に保険証のご提示を求め、問診票の記入をしてもらいます。氏名や住所、保険証番号などの基本的な情報を入力しカルテを作成します。診察が終了したカルテより医療費の計算をし、患者負担金の徴収を行います。

●診療報酬請求業務

患者さんの診療をもとに診療報酬明細書（レセプト）を作成し、患者負担金を除いた残りの医療費を審査支払機関を通して保険者へ請求します。正確性とスピードの両方のスキルが求められる医療事務の専門性に特化した業務と言えます。

「笑顔・親切・丁寧・迅速」な対応をモットーに患者さんやご来院の方々とコミュニケーションをとることで病気による不安なお気持ちを和らげ、医療に関する相談がしやすい雰囲気づくりを目指しています。医療費に関してのご相談など、お気軽にお声かけください。



理学療法士 森川 瑠菜

前回コロナ禍で懸念される運動不足を解消し、健康を保てるように自宅でできる運動・ストレッチをご紹介しました。

コロナ感染者数が減少傾向で少しずつ外出機会も増えて来ているかと思います。外出時におしゃれをして会話を楽しむ（日常生活の活性化）ことが認知症予防に有効であることをご存知でしょうか。今回は認知症予防についてご紹介します。



<バランス良い食事・運動+活動的なライフスタイル>が大切です



【運動】

■ 前回ご紹介した運動・ストレッチ（楽である～少しきつい程度の運動を週3回以上）

■ きっこう運動

➡ 体の左右で同時に別々の動きをすること

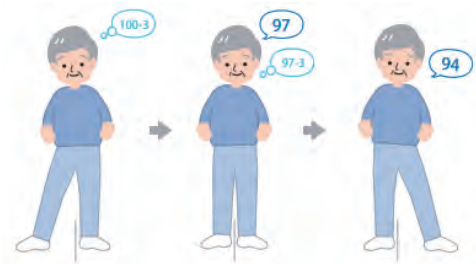
例：右手をグーで前に突き出し
左手はひざの上でパーに開く運動



■ 運動+認知課題（簡単な計算やしりとりなど）

例：足の横移動と引き算や足し算練習

左右交互に足を一歩ずつ横に移動
上記の運動をしながら簡単な計算を行う



■ ウォーキング

- ・歩幅を少し広げて、少し速めに歩きます（歩くときはひじを大きく振ります）
- ・視線は5mくらい先におきます
- ・少し息が早くなる程度のペースで約10～30分（途中で休憩を入れても結構です）



【日常生活の活性化】 ＊外に出て人と交流（服装・おしゃれに留意し、会話を楽しむ）
＊趣味・余暇・スポーツ・ダンスを楽しむ
＊クイズやパズルなどゲーム的なものにチャレンジ
＊旅行の企画・調理・園芸



健康のための

ちよつとイイお話し

「唾液」について

こんにちは、医療法人増田会 増田崇信歯科クリニック増田崇信です。今回は健康と深い関わりのある「唾液」についてお話しします。

唾液にはたくさんの働きがあります。消化の手助けをしたり口の中を洗い流したり潤してくれたり様々です。そして全身の健康にも影響があります。唾液は健康な成人で一日1.0〜1.5ℓ程分泌されます。唾液分泌には何もしていない時にも分泌される安静時唾液と、食事などの刺激により分泌される刺激唾液があります。特に全身の健康に欠かせない成分が安静時唾液から分泌される「ムチン」という成分です。このムチンが口の中にある細菌を絡め取り体内への侵入を防ぐほか、口の中の粘膜を保護するなど体を守る役割をしてくれます。また唾液に含まれるIgA(免疫グロブリンA)は口の中に侵入してきた細菌やウイルスに働き、それらを無力化します。なんと、風邪やインフルエンザなどを防いでくれるのです。

しかし、唾液の分泌はストレスや疲れ、加齢薬剤による副作用などで減少します。唾液が減少すればIgAの量も減り洗い流す効果も減少



増田崇信歯科クリニック
院長 増田 崇信
ますだ たかのぶ

する為、細菌が繁殖し口の中のトラブルが起きる他、体内にも侵入しやすくなり全身に影響を及ぼします。唾液が少なく感じの方は舌をよく動かしたり口の中を刺激する事や、よく噛んで食事をし、水分補給や唾液腺マッサージなどを行う事が効果的です。

これからやってくるインフルエンザに唾液を出して立ち向かいまししょう!!



増田崇信歯科クリニック
〒812-0016 糟屋郡志免町田富 4-2-1 (田富バス停前)
【TEL】092-936-6601 (受付7時~21時) 0120-296118

診察時間

	月	火	水	木	金	土
午前	9:30 13:00	9:30 13:00	9:30 13:00	9:30 13:00	9:30 13:00	9:30 ▼
午後	14:30 19:00	14:30 19:00	14:30 21:00	14:30 19:00	14:30 19:00	14:30

【診療科目】
一般歯科、小児歯科
予防歯科、矯正歯科
口腔外科、審美歯科
インプラント、訪問診療

日曜・祝日休診

病棟スタッフからの
感謝のことば

コロナ禍のため、入院中は外出ができない患者さん方のために
往診いただきありがとうございます。

虫歯治療に加え、義歯が合わず困っている患者さんのもとにも
駆け付けてくださっています。

口腔内のメンテナンスを行うことで食事がしやすくなり、
食事量が回復する患者さんも沢山いらっしゃいます。

時間をかけて丁寧に診察して頂いており、
患者さん方からの喜びの声をよく耳にします。

いつも笑顔で優しく対応して頂き、スタッフ一同本当に感謝しています。
ありがとうございます。

～ 4A 病棟～





リハビリテーション課
主任
長谷川 裕介

「車中泊ソロキャンプ」

コロナ禍の今、3密を避けられる屋外レジャーとして人気が高まっているのがキャンプです。テレビや雑誌、ネット等を通じて様々な情報が入り込めるようになっており、ここ数年でアウトドア用品を専門に扱う店も増えていきます。最近では一人で楽しむソロキャンプ（ひとりキャンプ）も流行していますが、私がソロキャンプを始めた当時、私以外には家族・グループしかいない日もあり、時には隣のグループの方に「あの一人一人で来ているけど寂しくないのかな？」などと言われながら（言っている本人は聞こえていないと思っただけですが）、こちらは一人で静かにしていますので、結構聞こえるものです・・・、一人でキャンプしていたのを思い出します。

このソロキャンプの魅力は何と云っても気を遣わず、なんでも自由にできることではないでしょうか。食べた時に食べたい物を、眠くなったら寝て、帰りたくなったら帰るといのように自由に過ごすことができます。欠点は準備から後片付け、さらにはトラブル発生時の対処まで、全て一人で行わなければならないというところだと思います。そこで、

その欠点を補いつつ、私自身の辿り着いた答えが車中泊ソロキャンプでした。

車中泊ソロキャンプの利点は、当然ながらテントを張らなくて済みますので、物も減らせて、設営や撤収の時間も短縮することができます。また、雨風に強いので、台風や大雪でない限りは楽しむことができます。一方で欠点はオートサイトと云いまして車ごと乗り入れできる場所がないと車中泊ができないということと、やはりキャンプしている感はテントの方が出ますので、それを味わいたい方には間違いなくテント泊をお勧めします。また、車種にもよりますが、寝床が完全に平らにはならず、凸凹が生じるため、快適な睡眠はとりにくいです。ただし、その対策として様々なメーカーより車中泊用のマットが販売されていますので、それを利用すれば解決できます。

車中泊キャンプをしながら、いつかはテントを買おうと思っただけで済ませましたが、実はいまだにテントは持っていません。時折、おすすめめのテントを教えてほしいと相談を受けることがありますが、私自身はテント泊をしていないので、受け売りの知識で答えていました（この場をお借りしてお詫び申し上げます）。相談を受けるたびに、いつも心苦しい思いをしていましたが、遂にテントを買うという一大決心を致しました。これで、その苦しみから解放されまし、何より新たな楽しみが増えるということ、今からワクワクしています。

貴重な時間を割き、最後までお読み頂きありがとうございます。



編集後記

今年最後の「手と目」となりました。ついこの前、2021年が始まったと思ったらひと月しないうちに2022年です。早いですね。

2021年の栄光会の歩みは激動でした。今号の特集は下稲葉康之名誉会長を偲ぶ回でした。下稲葉康之名誉会長が主イエス様の元へ旅立たれて3ヶ月が経ちました。名誉会長が残されたフィロソフィー、言葉のひとつひとつをこれからも大切にしていき日々の働きの糧にし、まだまだ未熟者ではありますが精進して参りたいと特集を読んで心底感じました。

今号も多くの方々のご協力のもと、作成ができましたことを心より感謝申し上げます。2022年も読者の皆さまに暖かく見守っていただけましたら幸いです。

皆さまからの祝福が皆さまにありますよう祈念しております。（患サボ・中川）

※広報誌の送付が不要な方は下記までご連絡ください。

社会医療法人 栄光会
広報営業部会 担当：安川（和）
TEL 092(935)0147

E-mail k-yasukawa@eikoh.or.jp

曜日	月		火		水		木		金		土		
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
総合	①	原	呉屋	布巻	原	青戸	安藤	原/安藤	豊永	豊永	青戸	原/安藤	手越
	②	当番医		鶴田		原		斎藤		鶴田		手越	
	③			豊永									
外科		井上		井上		井上/斎藤		斎藤		斎藤		井上/斎藤	
専門・予約外来	循環器	折田加				畑島	折田義		林谷				
	呼吸器				安藤					安藤		内海 <small>(第1土曜)</small> 二宮 <small>(第3土曜)</small>	
	糖尿病		豊永			豊永			福永 <small>(再診のみ/15時迄)</small>				
	脳神経内科	鶴田		大野		呉屋		大野		呉屋			
	整形外科		山口	本村				原雄人 <small>(am10:00~)</small>					
泌尿器科											九大		

診療スケジュールは都合により変更となる場合があります。予めご了承ください。

○診療時間は、9:00~17:00(昼休み12:30~13:30)となっています。なお、午前中の受付は12:00までとなっておりますのでご注意ください。ただし、急患は24時間いつでも受け付けております。

○専門外来・ホスピス相談は原則として予約制となっています。ご予約がないときは、お待ち頂くことがありますので、ご了承ください。

【救急外来受付】

救急患者さんの受け入れを

24時間体制で行っています

※事前に  お電話にて
診療科の確認をお願いいたします

TEL.092-935-0147

栄光病院 健診センターのご案内

皆さまの日頃の健康の維持・増進のための施設です。
日本人の半数以上が「がん」と「動脈硬化」で亡くなります。
これらの病気は知らないうちに進行し、症状が出た時は手遅れになります。それを早期発見し、治療につなげようというのが健診やドックのコンセプトです。

詳しいことは、電話でお問い合わせください。

TEL. 092(935)0147 (病院代表)

栄光病院グロリア基金のご案内

栄光会の医療・介護・福祉の事業展開のために皆さまお一人お一人のお力添えを心よりお願い申し上げます。栄光会事業の趣旨にご賛同賜り、ご支援頂けますならば、誠に幸甚に存じます。

【グロリア基金 お振込口座】

栄光病院グロリア基金 代表 井上裕

西日本シティ銀行 博多支店 普 No.1533165

福岡銀行 吉塚支店 普 No.1443197

郵便振替 No.01730-8-76630 (代表者名等なし)

*法人・個人を問わず任意の額で結構でございます



救急告示病院

社会医療法人 栄光会

栄光病院

〒811-2232 福岡県糟屋郡志免町別府西 3-8-15

Tel.092(935)0147

Fax.092(936)3370

URL: <http://www.eikoh.or.jp>

E-mail: eikoh@eikoh.or.jp